

レオナンデス通信

www.nakanishireo.com/



無所属
中西レオ

2023年3月号

発行：中西レオ応援団

失敗も明石のチカラに
議会の構造を見直す
今は明石の分岐点

明石市の市議会の定数は30人。加古川市議会(31人)より少ないのに、市民からは「多すぎる」という声が出ます。思い切った構造の改革が必要ではないでしょうか。具体的には選挙でえらばれる議員の数を大きく減らし、政策立案スタッフや外部の専門アドバイザーを置くことで、政策立案力や予算のチェック力をこれまで以上にする方法を挙げています。

議会は市長との不毛な対立を繰り返しています。今すぐにこれを終わらせて、市民に信頼される議会を作らなければなりません。



対立から対話へ

今あるものを活かす政治

高齢者が楽しく出かける明石

耳鼻科の救急再開

敬老バスIC化
紙製の敬老バスをICカードにして便利に。たこ

長い間、社会に貢献してきた人に感謝を込めて80歳過ぎたらバス代を市で負担。免許を返納しても便利に暮らせる明石をつくります。

80歳でバス無料



たこバスや交通の充実

高齢者は買い物やお出かけを楽しみ、元気に暮らしてもらいたい。そのためには公共交通の充実が必要です。

市民の健康を守るために、明石市内に耳鼻科の急病センターを設置するべきです。

末年始やゴールデンウイークが不安だという声があり、持病がある方からは、年がなくなりました。

耳鼻科の救急

明石市は耳鼻咽喉科の休日救急診療がありません。

以前は東播磨3市2町の診療所でローテーションを組んでいました。しかし現在は明石市以外の2市2町が姫路休日夜間急病センター対応になり、以前の仕組みがなくなりました。

